

第2回日吉津小学校運営協議会会議録

○日 時 令和4年9月15日(木) 午後7時30分～午後8時45分
○場 所 日吉津小学校子ども図書館「まなびルーム」
○出席者 井田博之(教育長)
会長：山根直樹(社会教育委員)
副会長：井藤健志(地域代表)
委員：伊藤真由(P T A会長)、中原昌之(P T A副会長)
田辺昌宏(地域代表)、立脇賢二(学校支援ボランティア)
吉崎勇(学校支援ボランティア)、兼本修二(学校支援ボランティア)
石 敬子(学校支援ボランティア)、山路由紀子(保育所所長)
太田敦弘(小学校校長)、谷口俊則(小学校教頭)
横田威開(教育課長)、長谷徳子(地域コーディネーター)、

○欠席者 なし

1. 開会 午後7時30分から

○司会進行 横田課長

第2回日吉津小学校運営協議会を始めます。

2. あいさつ

○山根会長あいさつ

みなさんこんばんは。お忙しいところ集まっていただきありがとうございます。

先週の土曜日にカルチャー土曜塾で日野川探検がありまして、手伝いに出かけてきました。その次の日の日曜日が日吉津の海岸でつり大会がありました。たくさんの参加者がありました。ボランティアの方が多く参加していただきました。そういうところで、ふれあいコミュニティというか学校とは違った体験ができたと思います。

この協議会で、前回かけ算九九を聞こうということで行いましたが、ふれあうことができました。これからもどんどん増やして子ども達と地域のみなさんと触れ合う機会が増えればいいなと思います。それがコミュニティ・スクールの意義だと思います。それから土曜日に古い保育園が取り壊されるということで、見学会に行ってきましたけど、保育所も児童館も新しくなりました。人と触れ合って日吉津に生まれて良かったと思える子どもがどんどん増えてくると嬉しいなと思います。今回は、熟議のテーマを決めたりすることが主なことだと思いますので、よろしくをお願いします。

3. 議題

(1) 学校から地域の方に協力してほしいこと

○横田が進行させていただきます。地域の方に協力してほしいことですが、9月10日の土曜日にカルチャー土曜塾の日野川探検に7名のボランティアの方がきてくださいました。これまでで一番多くありました。子どももこれまでで一番多かったです。ボランティアのみなさんのおかげで成り立ったという日野川探検でした。9月3日に最初は予

定していましたつり大会ですが、これも7名のボランティアの方が手伝いに来てくださいました。当日は雨の中集まっていただきましたが、つり大会は延期になりました。延期後のつり大会も4名の方が来ていただきました。昨年つり大会に参加してお世話になったので、今度は自分が関わる番だということで来てくださったお父さんもあります。子どもたちに餌のつけ方、投げ方など一緒に関わってくださった方もあります。昨年度は、この学校運営協議会で出来ることということで決めて、かけ算九九の授業に入るということを行いました。それ以外でも学校から地域の方とこんな活動ができたらなということがあるのではないかと思います。まず学校の方からお話をお聞きしたいと思います。

○谷口教頭先生より説明

クラス担任に聞いてみたところ実現で出来そうなことと、ちょっとこれは難しいなど思うこともあります。1年生からいくと、昔遊び、こまとか、けん玉とか、竹とんぼとかそういったことをイメージされているのかなと思います。読みフラッシュカード、たし算引き算カード。

2年生生活科の村探検、紹介をしてもらったりだとか、神社や記念碑のことだとか、見守り隊として一緒に行ってもらおうとか、生活科生き物探し、生活科さつまいも掘り、いもパーティー。

3年生は、図工「くぎ打ちトントン」、子どもたちがくぎと金づちでトントンしますが、けっこう危ないです。子どもたちは慣れていないので、そこで見守っていただく方があればいいなということです。かけ算九九、去年もやっていただき、いいなと言っていました。そろばんも算数の中に3年、4年になるとあります。2時間、3時間程度ではなかなか習熟ができません。

4年生は、田植え、稲刈り、海岸探検、これは環境問題で砂浜の様子を見に行ったり1学期していましたので、そういう時に見守りをしていただけたらということです。

5年生は、ミシン、6年生もミシンがあります。けっこうミシンが大変で、だいたいミシンをするときは何人かの職員にお願いし一緒にしますが、引っ掛かったり、もつれたりします。調理実習ですが、なかなか今コロナ禍で、調理実習ができないですが、状況がよくなって実施する際にお手伝いに来ていただきたいと思います。それから彫刻刀、これも子どもたちだけでやると危ないですし、彫刻刀の使い方も難しいので、最初に学ぶときに一緒にできればいいなと思います。

○学校から地域にというなげかけがありました。これなら出来るかな、これは難しいかなということをお話し合っしてほしいと思います。その後に、地域からこんなことも出来るのではないかなということが出来るかもしれないので話し合ってもらいたいと思います。皆さんからいただいた意見で、実際にどんなことに挑戦してみようかと考えていければなと思います。

○グループごとに出てきた意見を紹介してください。

○もし昔遊びをするなら月に1回、クラブ活動で火曜日の7時間目、そこに集まってもらって昔遊びクラブをすとか4年生以上ですけど。大豆のことで、枝豆を食べて、豆

腐づくりをしていましたが、コロナ禍で今は業者をお願いをしている状況です。そのあたりを復活して豆腐づくり、きな粉づくりなどできたらいいなという意見が出ていました。

○全てのことは参加可能かなと思います。調理実習は、コロナ禍の中、どこまでできるかなと思います。そろばんもできるかなと、ミシンとかも前はエプロンとか、手提げ袋とか作っていたけれど、子どもたちに雑巾とか作らせたなら、自分の作った雑巾で掃除するというのもいいなと思いました。昔遊びも竹馬だったり、お手玉だったりできると思いますし、図工のくぎ打ちトントンもお手伝いすることは可能かなと思います。

○そろばんとかミシンとかになると補助という受け止め方をしています、それよりもコミュニティ・スクールということで、一緒に対話できたり、体験が出来たりするといいいなということから話を進めていきました。生活体験とか海岸体験とか小学校では体験できないようなお地藏さん探しとか、蚊屋島神社とか、ポイントを何か所か絞っておいて授業の中で子どもたちが回って探検が出来て成果が得られたら、日吉津の財産になるのかなと話をしました。昔遊びというのもいろいろあるかもしれません。色紙遊び、銭太鼓、コマ回しとか授業の中で出来る事はある程度限られるのかな、補助的に参加するより子どもと大人が会話も弾んで、子どもにも学びがあったり、大人もいろいろと情報共有ができたかなという話をしました。

○ここに上がっていることは、みんなできるかなと思います。子どもたちと一緒に何かをする。そろばんも自分たちも勉強になるので一緒にするのもいいかなと思います。一緒に体を動かして、何かスポーツができればいいなと思います。子どもたちが休憩時間に話しかけてくるので、話を聞く、ただ話を聞くだけですけど、話し相手というか、そういうのをするといいかなという話をしていました。

○いろいろな広がりを感じさせる意見が出てきました。補助というより一緒にとということで、いいキーワードだと思います。一緒に活動してくださる方ということで、以前に昔遊びをした時に、おはじきやお手玉とかスペシャリストがいて、子どもがどれだけやっても追いつけないレベルの人がいて、技をたくさん披露されて、けん玉にしてもそうですし、補助というよりは師匠という感じで活躍されて喜んでおられました。一緒に楽しむことはできると思います。今後は、どういう風に発信していけばいいのか事務局で考えてみたいと思いますので、また相談させていただきたいと思います。

(2) 熟議のテーマについて

○令和2年度は、めざす子どもの姿、昨年度は、私たち大人にできることというテーマで話し合いました。昨年度は、私たちができることということで、委員のみなさんが算数の授業の中に入って、子どもたちのかけ算九九を聞きました。熟議なのでいろいろな立場の方が話をされます。ボランティアの方、保護者の方、子育て真っ最中の方、子育ては終わったんだけど、あの時はこんなことを考えて自分はやっていたなど、様々な立場の方がいろいろな意見を言い合うことでどうしていこうかなということが見えてきた

熟議だったと思います。テーマを考える時、例えば、日吉津の中で問題になっているなと思うこと、課題になっているな、みんなと話しておきたいなということも一つのテーマになると思います。今、子どものこと、大人のことということで話し合いを進めてきたんですが、ここはもうちょっと足りなかったかなと感じられることがあれば、それがテーマになるかもしれません。グループで少し話し合ってみてください。

○今、子どもたちはどんなことを考えているのかとか、考えてみるのも楽しいかなと話をしながら昔話をしていました。

○今休みの日とか、学校が終わってからの時間の使い方とか、なかなか子どもが受け身になっていて、自分で何をしたいかわからない。与えられないとできない。自分たちの時はそういうのじゃなかったなと、自分で友達と約束をして遊びに行ったり、予定立てたりしていたなと。今は親同士で、今日は遊びはどうですかとか、親同士で予定をすり合わせるんです。そういうのってどうなのかなと思います。自分で予定を立てればいいのかと思います。遊び方を分かってもらえたらと思います。

○放課後の過ごし方というか。学校が終わったら、家に帰る子、児童館に行く子、スポ少に行く子などいろいろだと思うが、子どもたちは学校から帰ってからどんなふうに過ごしているのかなという意見が出ました。家庭での過ごし方ということも出ました。それから子どもたちの関わり方ということも出ました。日常的に何か子どもたちに関わればいいのかという意見も出ました。

○日吉津文化の伝承、方言、しめ縄など。

○一番思うのは、方言。地域に誇りを持つということで、方言を知るといふもの大切ではないかなと思う。「そげ」、「あげ」、「こげ」とか。

○それぞれ発表していただいたものをそのまま書いてみました。

「過ごし方」というのがキーワードになっていますね。過ごし方の中で、子どもたちがすること、遊びを決められない、親に「これしてもいい」と尋ねて、それができないと次にいけないような現実、そういうこともあるのかしれません。子どもたちのこういうことをしたい、やってみたいという考え、皆さんからいろいろな意見がでました。熟議のテーマをどうするのかということですが、この「過ごし方」というのを一つのキーワードとしてテーマを設定してみましようか。子どもの過ごし方ということで、文化の伝承というところまで、思い切ってこのテーマで踏み込めるのか分かりませんが、親や一緒に住んでいる家族とのコミュニケーションの中では、日吉津の言葉というところではつながりが出てくるのではないかなと思います。「過ごし方」ということをキーワードにテーマを設定したいと思います。いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

<「はい」と返事する者多数>

(3) 視察研修について

○長谷地域コーディネーター説明

年間計画として、マイクロバスに乗って委員研修を計画しています。11月14日（月）に鳥取県教育委員会主催で、場所は、米子市淀江文化センター「さなめホール」にてコミュニティ・スクールの研修がありますので、この研修に参加したいと思っています。通知がきましたら委員のみなさんにご案内いたします。村の公用車かマイクロバスを利用して出かけたいと思いますので、よろしくお願ひします。もう一つは、県主催で11月に「コミスクを語る会」というのが予定されています。こちらの方も通知がきましたら案内させていただきますので、都合がございましたらよろしくお願ひします。

○少し補足します。後で説明のあったのは、県西部のものです。県全体ではなくて、特にこの近隣のみなさん方がコミュニティ・スクールの語る会というテーマで、それぞれの取り組みを情報交換するということになります。今、近隣でいいますと米子市がどんどん導入を進めています。また、周辺町村で導入しているところは、どういうふうな取り組みをしているのかという情報もわかるそういう会になるのではないかなと思います。平日なので、都合がつかない方もあると思いますけれど、できる方で参加したと思います。

(4) その他

○9月16日付で「コミュニティ・スクールだより」を小学校に配布しましたので、お知らせします。

○次回の予定については、10月20日（木）午後7時30分から9時00分でお願ひします。

<写真撮影（委員全員）>

4. 閉会

○井田教育長あいさつ

提案したかったのはコーラスクラブです。子どもたちと一緒に歌いたいなと思いました。子どもたちの話し相手というのはいいなと思いました。この学校運営協議会のメンバーが仲間になってきたなど、話が非常にスムーズにいくようになって、やはり回数合って、関わり合って、思いを伝え合ってというようなことを続けるうちにこうなってくるんだなと思いました。子どもたちの間も同じだと思うので、話し相手、どんな形で子どもたちに出会ったらいいのかというあたりをちょっと学校のみなさんと一緒に相談して、できる方法を考えてみたいなと思いました。教育委員会としても進めていかなければならない気がしました。いろいろなアイデアが生まれてくる会だな、ありがたい会だなと思いました。来月もよろしくお願ひします。お疲れ様でした。

○以上で第2回日吉津小学校運営協議会を終わります。

午後8時45分